



北浦小だより

令和2年8月31日

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

Hop Step Jump 第18号

ホップ・ステップ・ジャンプ

文責:校長 武田 民弥

高学年児童の「委員会活動」にたくましさを感じます。

新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着けたままでの授業、前を向いて無言で食べる給食など自粛しなければならない点はしっかりと守りながらも、児童は学校のため、友達のために主体的に活動してくれています。

26日児童朝会がありました。保健委員会と運営委員会から全校児童へ活動協力への発表がありました。保健委員会は、ペープサートを使って感染予防について呼び掛けてくれました。TVでの映像放送をうまく利用していました。(詳細は8月26日の本校HP参照)また、運営委員会は『自分の名前を大切にしよう』プロジェクトの取組について説明してくれました。本校教育の指針の一つである「自分の名前を丁寧に書くこと」を運営委員会が中心になって進めてくれました。今後、キャリアノートに保存し、継続的に意識して取り組める活動にしていきたいと思えます。



【進化する子供たちの学び②】・・・EdTech(エドテック)で教育が改革される

行方市の小中学校でEdTech(エドテック)を活用した取組が今年度後半から少しずつ行われる予定です。『EdTech(エドテック)』とは、教育(Education)とテクノロジー(Technology)を融合させた造語。学習スタイルや教材にデジタル技術を活用し、従来の教育の仕組みに変革をもたらすビジネス・サービスです。(8月28日茨城新聞に本校研修が掲載)

EdTechには双方向性・匿名性・低コストといった特徴があり、教師が児童に一方的に教材を提供するのではなく、時間や場所を問わず相互のコミュニケーションができ、より多くの人に、手軽に学びの機会を提供できるようになっていくためのものです。学校だより第10号で「GIGAスクール」により児童1人1台パソコンを持つ時代がやってくることを書きました。1人1台の情報端末、電子黒板、無線LANなどが整備された環境で、ICTを活用して子供たちが主体的に学習できる環境が整うようになります。エドテックも活用され、児童に与えられた「マイパソコン」に担任から宿題のデータが送られ、それを解いて担任にデータ送信され、O付けされて、再び児童のパソコンに返信されてくる。学校で宿題を印刷することがなくなる時代がやってきます。



『おジャマします 授業拝見』⑥ 【5年1組担任 ○○ ○○ 先生】

5年2組での算数の授業です。5年生は2人の担任が教科専科として算数を○○教諭、理科・外国語を△△教諭が行っています。さて、本時の算数の課題は「『何倍か?』を求める方法は?」。見通しは、「かけ算」「わり算」に分かれました。問題は、赤・青・黄・白色のテープの長さが決まっていて、「青は赤の何倍ですか?」「黄は赤の何倍ですか?」と出されました。児童は一人一人集中して計算したり、数直線で確認したりしていました。終わった児童は友達と考え方を比べて、代表児童が3枚の大型ホワイトボードへ解き方を記入していきました。○○先生から「3つの解き方の同じようなところと違うところはどこ?」と問われ、児童は「わり算とかけ算が使われているところ」と答えます。「じゃあ、かけ算の考え方とわり算の考え方の違いは?」と進み、「何倍かの求め方は、(知りたい数)÷(もとの数)で求められること」にまとめることができました。児童は普段から友達と考え方を相談する機会が多く、主体的に活動しているのが印象的でした。



○○先生の特技は卓球。大学まで続けてきて、今でも大会に出ることもあるそうです。趣味?は、我が子と遊ぶことだそうです。双子の子供を連れて出かけたり、公園で遊んだりするのがとても楽しいそうです。

(訂正・お詫び) 8月17日学校だより第16号の記事の中に「11月27日に予定しています授業参観等」は、「11月26日・・・」の誤りでした。訂正し、お詫びいたします。